

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	成人保健指導事業				事業番号	011-198	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康推進課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well－being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画			さかい健康プラン			
3	事業開始年度			平成 14 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度	
4	実施根拠			健康増進法、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、堺市歯科口腔保健推進条例			

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁、各区				
6	事業の対象		40歳以上の堺市民		対象数	507,823	単位 人
7	事業の目的		すべての市民がいくつになっても心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、健康的な生活習慣に関する知識の普及及び意識の向上を図り、生活習慣の改善・定着につなげる。				
8	事業内容		- 健康に関する普及啓発 保健医療関係団体等と連携・協働し、食や運動、禁煙、歯と口の健康、各種健（検）診の受診勧奨等、健康に関する知識の普及啓発を行う。 - 各種教室や健康教育、健康相談の実施 市民の健康増進を図るための各種教室や健康教育、健康相談を実施する。また、運動や学習など市民が主体的に健康増進活動に取り組めるようグループの育成やグループ間交流、学習会等を行う。 - 訪問指導 保健指導が必要な市民やその家族に対して、保健師等の専門職が訪問し、必要な指導を行う。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先		一般社団法人堺市歯科医師会				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	健康教育参加者数	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000
			実績値	13,069	13,041		
			達成率	93%	93%		
	当該指標を選定した理由		健康教育を行うことで、市民の行動変容を促し、健康チェック等健康行動につながるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法		実績値から算出。				
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	健康教育実施回数	回	目標値	700	700	600	
			実績値	479	542		
			達成率	68%	77%		
	当該指標を選定した理由		生活習慣病の危険因子と関連する生活習慣や、健やかな生活習慣の形成に向けた健康教育を実施することで、市民の行動変容につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		過去の実績値を踏まえて算出。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		成人保健指導事業				事業番号		011-198					
Ⅲ. 投入量													
事業コスト													
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）													
項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度					
		決算		決算		当初予算		当初予算					
13	財 源 内 訳	事業費（a）		7,538	7,379	7,930	7,038	8,391					
		国支出金		2,053	1,719	3,295	2,445	3,207					
		府支出金		0	0	0	0	0					
		市債		0	0	0	0	0					
		その他（ ）		0	0	0	0	0					
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0	0	0	0	0					
		一般財源		5,485	5,660	4,635	4,593	5,184					
14 人件費（b）		2,430		2,430	2,520	2,520	2,610						
15 年間経費（c）=(a)+(b)		9,968		9,809	10,450	9,558	11,001						
事業費の内訳													
（単位：千円）													
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源
				R7	決算					R7	決算		
		医師報酬		R7	決算	738	374	会場等借上料		R7	決算	26	26
				R8	予算	932	535			R8	予算	43	11
		謝礼金		R7	決算	1,806	1,248	役務費		R7	決算	83	51
				R8	予算	2,034	1,448			R8	予算	141	88
		普通旅費		R7	決算	29	20	備品購入費		R7	決算	0	0
				R8	予算	40	28			R8	予算	440	0
		需用費		R7	決算	1,256	549	負担金、補助及び交付金		R7	決算	200	200
				R8	予算	1,661	749			R8	予算	200	200
		委託料		R7	決算	2,900	2,125	-		R7	決算	0	0
				R8	予算	2,900	2,125			R8	予算	0	0
		Ⅳ. 事業の効率性											
		単位当たり経費											
17		区 分			単位	令和6年度		令和7年度					
		① 健康教育参加者数			回	13,069		13,041					
		② 上記①にかかる年間経費			千円	9,809		9,558					
		③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	751		733					
		算出についての説明等		主な取組である健康教育について算出した。									
Ⅴ. 評価													
費用対効果に係る所見													
18		成人期の市民の健康増進を目的として、食・運動・歯と口の健康、各種健（検）診の受診勧奨等をテーマとした健康教育を実施した。また、企業等と連携した取組を推進することで、民間資源やノウハウを活用し、市単独で実施する場合に比べて運営費や人件費を抑制することができた。この結果、事業の充実を図りながら、市の財政負担の軽減につなげることができた。健康教育は、市民のニーズや対象者の状況を踏まえ柔軟に実施しており、実施回数や参加者数は年度により変動が見られる。近年は実施機会の確保を重視した取組により実施回数は増加している。											
		一方で、参加者数は減少し、実施回数の増加と相まって単位当たりの経費は増加しているが、参加機会の拡充の観点から一定の意義が認められる。今後も参加者数の確保と効率的な運営の両立を図るため、開催方法や周知の工夫により効果的な事業実施に努める。											
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）													
19		保健師をはじめとする専門職が健康教育や健康相談、保健指導等の様々な機会を通じて生活習慣の改善や健康管理の重要性を市民に伝えることで、市民が主体的に健康増進活動を始めると継続する機会となった。また市民が健康増進活動を継続することは、主要な死因である生活習慣病の危険因子の軽減につながることから、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考える。											
20	必 要 性	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
		成人期における生活習慣病は主要な健康課題であり、その予防及び重症化防止は健康寿命の延伸に不可欠である。本事業は、健康教育や健康相談等を通じて市民の行動変容を促すものであり、その必要性は高い。											
	有 効 性												